

校長室便り



(家庭数配付)

令和5年3月24日

第11号

白井市立白井第一小学校

校長室発行

修了式を終えて

本日、令和4年度の修了式を行いました。令和4年度の教育課程の全てを修了したことをご報告します。

今年度は、私が本校に着任して以来、最もいろいろな活動を行うことができた1年間でした。昨年度できなかったことも、いろいろとできました。たとえば、郡の陸上競技大会に参加できましたし、5年生の自然教室を1泊2日で行えました。6年生は国会議事堂の見学ができ、ネリカ米も学校の敷地で栽培できました。4年生の福祉体験学習や6年生のキャリアトークは、子どもたちにとって貴重な体験となったはずで、教室での学習や体験学習によって、子どもたちは様々な力を身に付けたことと思います。

では、こうして身に付けた力は、どのように役立てることができるのでしょうか。それが確認できたのが、今年度の卒業式です。卒業生・5年生共に、その場に合った正しい状況判断ができていました。高いレベルの卒業式だったと思います。また、教科の学習で考えると、授業で学習した内容は、生活の中で役に立っているのでしょうか。国語の言語能力や読解力は、日々の生活で活用しやすい力ですが、数学的思考方、社会科で学ぶ資料分析能力、理科で身に付く観察力などが、日常生活の中で役に立つと感じることができたら、子どもたちの学習意欲は、格段に高まることでしょう。つまり、学校が子どもたちに身に付けさせるべき学力とは、日常生活に役立つ学力でなければならないと思います。1月に3～6年生が行った、「ちばっ子学びの未来デザインシート」は、この「日常生活に役立つ学力」が備わっているかを確認するものでした。結果的には、充分満足できる結果ではありませんでしたので、来年度の課題だと感じています。

一方で、「将来役に立ちそうもないものを、なぜ勉強しなければならないのだろう。」と思っている子どももいるでしょう。「役に立たないのなら、やっても無駄じゃないか。」という意見。ごもっともです。ただし、「長い人生で、何が役に立つかわからない。」と私は思います。私自身歴史の勉強は好きでしたが、それが将来自分の職業に役立つとは、学生時代思ってもいませんでした。広く様々なことを勉強することで、自分にとって大切なものを見つけ出せる選択肢を増やして欲しいと思います。だからこそ、たくさんの方に挑戦できる子どもを育てていきたいと思えます。

今までの本校へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

来年度もよろしく願いいたします。



新型コロナウイルス感染症対策について

これまで、新型コロナウイルス感染拡大予防にご協力いただき、ありがとうございます。おかげさまで、大きな混乱なく令和4年度を終了することができました。市内の感染者数もかなり落ち着いており、4月から始まる新年度では、これまでとは違った感染予防対策になると思います。現時点では、文部科学省より「4月1日からは、学校教育活動において、マスクの着用を求めない。」という通達が出ていますので、本校でもマスクの着用を求めません。もちろん、マスクを着用してもかまいません。今後新たな指示がありましたら、メール等でお知らせいたします。

尚、引き続き、三密の回避、手洗い・指先消毒、換気には十分注意してまいります。

